

連携館ワークショップ

「ひみつのたまご」をつくろう

2024年8月24日(土)・25日(日) 会場:入間市博物館／講師:みょうか

一昨年開催時に即満員になったワークショップを再びALITで行うことになりました。今回も満員になったのですが台風7号接近に際して日程を変更、最終的に7名の参加です。

講師はみょうかさん。

初日は風船を膨らませてその周りに和紙をちぎったものを張り子の要領で貼っていきます。

一昨年から内容がブラッシュアップされています。和紙の説明に合わせて、その原料となる楮(コウゾ)、三桠(ミツマタ)、雁皮(ガンピ)の実物に触れたり、あらためて和紙との違いを比較できるように洋紙をちぎってみたりもしました。

風船を膨らませます。この大きさが最終的にたまごの大きさに影響してきます。今年は中に入れるLEDライトが大きくなったので大きめに

ふくらませるように説明がありました。

風船をまんべんなく和紙で覆えたら、配られた用紙にデザイン案を考えて、たまごの表面にさまざまな色の紙を使って模様や絵などを貼っていきます。

デザインが貼り終えたところで、その上から白い和紙を4重に貼り重ねて行く工程です。貼り重ねた和紙が何段目か分からなくなるのを防ぐためにデザイン用紙に貼り重ねチェック欄が出来ていたのも前回からブラッシュアップしたポイントでした。

2日目。まずは和紙を貼り終えたたまご(一晩かけて乾燥させました)から、芯にした風船を抜きます。そして風船を抜いた開口部をハサミで少しずつ切り広げて、別に用意したLEDラ

イトを差し込めるようにします。これで「ひみつのたまご」は完成!

でもワークショップはまだ終わりではありません。みょうかさんのテーブルの上に並んだものは、色とりどりの紙、モール、リボン、綿、プラカップとハサミ、筆記用具と「作品シート」。これからたまごの「巣」を作り、作品解説を書いてみます。

全員の作品が完成したら、会場を移動して展覧会です。部屋を真っ暗にした中で、参加者が作った模様やイラストがはっきりと照らし出されました!みょうかさんお手製の帽子の角も光っています!

最後にみんなで作品の紹介をしてもらいました。入間市はこの日が夏休み最終日。よい思い出になったのではないのでしょうか。



ちぎる前の大きな和紙。



デザイン案を考える。



模様や絵などを貼っていく。



暗闇に照らし出された参加者の作品。



LEDライトを差し込む。



講師のみょうかさんお手製の帽子。



みょうかさんと作品紹介。